

第6学年 社会科学学習指導案

児童 1組 男13名 女14名 計27名
指導者 鷹羽正博

- 1 単元名 「戦争と人々の暮らし」 ～子どもたちと戦争～ (教育出版6年上)
- 2 単元について

(1) 目標

日本の戦争がアジア・太平洋に広がっていく経緯や、戦時下の社会の様子や人々の暮らし、他国との関係の変化等をつかみ、国内外の被害の状況について理解することができるようにする。

(2) 指導にあたって

子どもたちは前単元で、明治新政府が近代化を推し進め、2つの戦争を通じて日本の工業化が急激に進んだことを学習してきた。本単元は、満州事変から太平洋戦争までの15年間続く戦争から、日本がアジアの国々に戦火を広げる経過や、戦時下の日本国民の生活が疲弊していく様子、日本本土への空襲や沖縄での本土地上戦、原子爆弾の投下等から敗戦をむかえるまでを学習していく。そして、この戦争による被害や人々にもたらす影響が尋常なものではなく、多くの人々の生きる権利が奪われていったことを考えさせる。

児童は資料から分かること疑問をもつことに徐々に慣れてきているが、男女間の格差が見られる。歴史学習に積極的な児童も見られるが、全般的に消極的な態度を示す児童が多く、学習に対する関心は個人差が大きく感じられる。事前に知識をもっている児童は少なく、授業の中でできるだけ補助説明を加えながら学習を進めてきた。

この15年間の戦争で、日本人だけでなく、アジアの国々も含めて多くの人が命を奪われ、苦しみ続けた。この悲惨極まりない戦争について具体的な事例や写真、映像、実物などの資料を使うことによって、その実態にせまりたい。また、その時代を生き抜いた戦争体験者と触れ合う場を設け、学習活動の意欲付けや理解の深化を図りたい。本単元の学習を通して、戦争はごく当たり前ごく普通の生活を奪ってしまうことや改めて平和であることの幸せを実感させたい。そして、それは一人ひとりの人権が守られているからにはほかならないことにも気づかせたい。

(3) 指導計画 (7時間)

- | | | | |
|-----|-----------------|-------|----|
| 第1次 | 中国との戦争が始まる | (1時間) | |
| 第2次 | アジア・太平洋に広がる戦争 | (1時間) | |
| 第3次 | 戦争と国民生活の変化 | (1時間) | |
| 第4次 | 子どもたちと戦争 | (1時間) | |
| 第5次 | おそいかかる空襲 | (1時間) | 本時 |
| 第6次 | 沖縄・広島・長崎、そして敗戦 | (1時間) | |
| 第7次 | 学習を振り返り、新聞にまとめる | (1時間) | |

(4) 評価規準

- 戦争の経過や国民生活の様子について関心をもち、資料から調べ、積極的に考えようとしている。(関・意・態)
- 戦争の経過や国民生活の様子について学習問題を見いだして調べ、他国との関係の変化や国内外の被害の状況と関連付けて考え、適切に表現している。(思・判・表)
- 戦争の経緯や国民生活の様子について、資料を活用したり体験者から聞き取ったりして調べ、まとめている。(技能)
- 日本の戦争がアジア・太平洋に広がっていく経緯や被害、社会の様子や人々の暮らし、他国との関係の変化について理解している。(知・理)

3 本時の指導

(1) 目標

- 空襲の広がりや、それを今に伝える各地域の遺跡を調べることを通して、戦争によって国民が受けた被害の大きさを理解することができるようにする。

(2) 研究の視点に関わっての工夫

◎視点1－資料を読み取り、発見したことや感じたことを速やかにメモさせ、書く力や問題を発見する能力を高める。

◎視点2－資料から、戦争に対する自分の考えをもたせたり発表させたりする活動を通して、自己の表現力や判断力を高める。

(3) 展 開

	学習内容と活動	活動への支援(・) 評価(◆) 視点(◎)	資 料
つ か か む 5	<p>1 問題をつかむ</p> <p>○花巻空襲による爆弾破片について理解する。</p> <p>○アメリカ軍の資料から、空襲による被害について予想する。</p> <p>2 課題をつかむ</p> <p>空襲で、どのような被害を受けたのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空襲に関する実物を提示することによって、学習をより身近なものに感じさせる。 空襲を受けて燃え上がる町のビデオや写真を提示し、全体で考えさせる。 	<p>①実物：空襲の爆弾破片</p> <p>②ビデオ・写真：空襲を上空から写したものの</p>
自 分 の 考 え を も つ 10	<p>3 見通しをもつ</p> <p>○焼夷弾について理解し、地上の様子を考える。</p> <p>4 自力解決する</p> <p>○資料から、日本各地が受けた被害について調べノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空襲が全国に広がっている。 大きな都市が空襲にあっている。 多くの人々が亡くなり、けがをしたのではないか。 太平洋側が多く空襲を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から、空襲の被害について考えさせる。 <p>◎速やかにメモさせ、話し合いのための準備ができたか確認する。(視点1)</p> <p>◆発見したことを3つ以上書くことができる。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸惑っている児童には、地理的なことや焼夷弾について振り返る等の支援をしながら思考させる。 	<p>③図表：空襲を受けた主な都市</p> <p>④図表：焼夷弾の説明図</p>
学 び 合 う 23	<p>5 みんなで学び合う</p> <p>○まとめたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自の考えを発表し、交流し合う。 <p>○地域の被害について、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> すぐ近くにも、こんなに被害があった。 恐ろしい体験をした人がたくさんいたのだろう。 <p>○戦争体験者の話を聞き、当時の人々の気持ちを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空襲によって、国民が直接被害を受け、しかも死者が20万人であったことをとらえさせ、その数を実感させたい。 資料をもとに、身近な地域にも戦争の影響があったことをとらえさせる。 <p>◎戦争体験者の話から、空襲や戦争に対する自分の考えをノートにまとめ、発表し合い考えを交流する。(視点2)</p> <p>◆資料をもとに、自分の考えを表現することができる。(ノート・発言)</p>	<p>⑤図表：花巻市の空襲に関する表</p> <p>⑥ビデオ：空襲体験者の話</p>
ま と め る 7	<p>6 学習のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> 空襲による被害や戦争体験者の話から、戦争の被害が日本全土に広がっていたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国民の死者数についてもふり返えさせる。 	